

新しい生活様式 デイサービスができること

社会福祉法人奉優会 デイホーム奥沢

水内 寿美子、田代 さおり、山崎 順凪

(新しい生活様式 在宅を支える デイサービス)

1. 目的

新型コロナウイルスの影響により4月に緊急事態宣言発令。デイサービスのご利用を自粛される方々が増加し、初めての事で職員も不安があった。その状況でも、ご利用者のADL・QOLの維持・向上やご家族の介護負担軽減などを図っていきたいと考え、顔なじみの職員による定期的な会話や訪問によるサービス提供を行った。

2. 実践内容

デイサービスのご利用を自粛されたA氏。ご家族へご様子を確認すると、「お休みの間、入浴出来ずに困る。お風呂が好きだけど自宅での入浴には不安がある…」と話されていた。そこで、顔なじみの職員が訪問し、短時間での入浴サービスをご担当ケアマネージャーに提案し、実施することとなつた。

- ◆訪問当日・・・訪問前に電話にて体調確認・検温依頼
- ◆ご本人・ご家族に対して・・・ご自宅での過ごし方や、自粛中にどのくらい体を動かされているのか等の活動内容を確認
- ◆入浴時のご様子・・・デイと同じように、ご自分で届くところは洗って頂き、お話をしながら、時には歌を口ずさみながら、入浴して頂く。

家庭の浴槽が少し深いため、浴槽内に台を置き座って頂き、お背中は出ているがしっかりとシャワーをかけながら、会話を楽しみながらゆっくりお風呂を楽しんで頂いた。

訪問実施後・・・ご担当のケアマネージャーに訪問時のバイタル、実施内容等を書面にて報告。



| FAX送付状 | |
|--|--|
| 送付先： | |
| FAX年月日 本體送り 1枚 | |
| <p>【実施日時】5月29日(木) 13:00 ~ 14:00 / 【実施方法】自宅訪問・電話 入浴実施</p> <p>【近況確認】</p> <p>●健康状態 症状なし・ 変わらぬ() ・体温：36.0・ 血圧：140/80・ 体温：85.5・ 体重： コメント：元気です。お風呂が好きで毎日入ります。 ●食事状況 食欲良好・ 増減あり() コメント：</p> <p>●入浴状況 指導なし・ 障害あり() コメント：椅子に腰掛けた状態で、椅子から足を差しながら入浴しました。</p> <p>●外出・運動状況 持続なし・ 限界あり() コメント：</p> <p>●在宅支援サービス なし・ あり() コメント：</p> <p>【備考欄】</p> <p>●各種プログラム・個別相談・食事サービス・清潔保育支援・その他(公認認定介護)</p> <p>コメント：</p> <p>【備考コメント】</p> <p>お風呂の入浴が苦手な方でも安心してお風呂に入れる環境を整えています。</p> | |

送信者：デイホーム奥沢
TEL: 03-5726-3011 FAX 03-5726-3012

3. 結果

緊急事態宣言発令直後より多数のご利用者が自粛。ご自宅で過ごすにあたり困ったことは何か、解決できるきっかけ作りが出来ればと考え、電話にてヒヤリングを実施。今回は〈ご自宅での入浴〉について、ご家族からのお困り事として挙がり、職員が短時間訪問を実施し入浴介助を行った。入浴介助が目的だが、体調の確認やご自宅での過ごし方などをお聞きして、ご自宅ではあるがデイサービスに通っていたいしている時のようにお話をしながら、サービスを実施した。自粛中に起こった身体の変化（歩行状態が変わった、寝る時間が増えた、ボートとする時間が増えたなど）にも、ご家族との会話を通して、気づくことが出来た。また、困っていることの助言なども直接行うことができ、ご家族支援にも繋がった。



4. 考察と今後の課題

自粛生活で、お休みされている方々から「外出の機会が減り、混乱することが増えた」「寝てばかりで足の筋力がなくなった」等、多く聞かれた。デイサービスとして、〈今できること〉は何かを考えた時に、ご自宅にいてもデイサービスと同じような活動が出来るように、日ごろデイで行っている体操メニューや脳トレプリントやカレンダー、ご自宅でも検温管理ができるように健康観察シートを配布した。また、安心して再開できるように事業所で行っている感染対策もお伝えした。ご家族から心配なこと、不安なことを直接聞くことで、新しい生活様式でデイサービスとして何が出来るかを考える機会となった。デイサービス事業所だけではなく、地域として、ご利用者＝高齢者をどのように感染症から守ることが出来るのか、在宅生活を維持できるためにも、ケアマネージャーや他機関との連携も必要になってくると考えられる。

~~~~~  
＜助言者コメント＞

佐々木 静枝（社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団  
訪問サービス課看護師特別参与）  
.....

新型コロナウイルス発生に伴い、通所介護をはじめとして居宅サービス提供に大きく影響を及ぼしています。その渦中、厚労省からサービス提供に「柔軟な対応」が示され、早速、自粛されている利用者のヒアリングを実施、利用者、家族のニーズを把握し、解決のために行動した姿勢は大変よかったです。

発表者事業所のように居宅サービスに変更し提供しているケースは少ないと聞いています。職員は慣れない環境でのサービス提供、入浴介助はリスクを伴い易いケアです。大変気を遣われたことだったと思います。利用者にとっては日頃入浴介助してもらっている顔なじみの人からでしたから安心できたでしょう。

考察、課題にもありますが、関係者との連携、ことにケアマネージャーの関係がどうだったのか、どのような連携のありかたがよかったですのか示されると、今後の参考になると思われます。今後の一層の活躍を期待しています。